

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2394200170
事業所名	認知症対応型グループホーム南天

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 近隣のスーパーマーケットで季節の野菜や果物に親しんだり、「電子紙芝居」「オカリナ演奏」のボランティアを受入れるなど、地域との交流を大切にしています。一方、法人内では毎月認知症カフェが開かれており、地域住民とのふれあいの機会として事業所も感染症対策に配慮しつつ、参加しています。更に大府市福祉健康フェアではブースを設け、事業所としても地域との結びつきに向けた積極的な取組に余念がありません	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議は、大府市高齢障がい支援課、民生児童委員、地域包括支援センター、利用者家族と、メンバーを揃えて隔月開催が叶い、地域との連携を築く重要な場となっています。昨年度の1月と3月は新型コロナウイルス感染症対策の影響から書面開催となりましたが、メンバーには質問書を送って意見を収集し、寄せられた意見には丁寧な検討をおこなっています	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 管理者は「地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワーク」に参画するとともに、昨年開催された全国大会では認知症への取組について登壇し、認知症の理解普及に努めています。他にも「大府市地域総ぐるみ防災訓練」において防災協定を締結し、災害が起きた時の初動体制を確認するなど適切な対策を図っています。また地域包括支援センター、大府市認知症初期集中治療チームより情報提供があり、地域の困難ケースを1名を受入れた実績もあります	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 毎月「南天通信」を発行し、事業所の最新情報を報せています。また新型コロナウイルスの影響下では、家族がZoomを通じて面会できるよう要望に対応しています。そのようなやりとりの中で「認知症マフ」導入のリクエストも挙がり、職員が手づくりのうえ実現しています。面会や電話を介して家族の声を聞き、遠方に住む家族にはメール上で受診時の情報共有や意見交換をおこない、適切な運営となるよう図っています	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	—	—	○	○							